

■ HOME-BOX2 データセンターについて

HOME-BOX2 でお預かりしたお客様のデータは、業界トップクラスの信頼性を誇る Amazon Web Services, Inc.（以下、Amazon 社）が提供するクラウドサービス「アマゾン ウェブ サービス（以下、AWS）」で保管、AWS 上のサーバや保管データのサービス継続のための監視・稼働確認等の運用をキャノンマーケティングジャパングループ（以下、CMJ グループ）にて実施しています。

■ AWS については以下をご参照ください

<https://aws.amazon.com/jp/what-is-aws/>

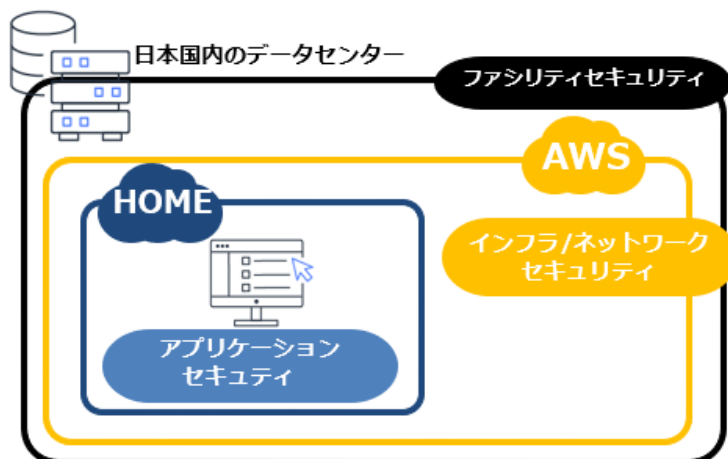
【AWS に関する FAQ】

※一部、「AWS リスクとコンプライアンスのホワイトペーパー」から抜粋

Question	Answer
データセンターの所在はどこですか？	日本国内です。
ユーザーによるデータセンター訪問を許可していますか	AWS のデータセンターでは複数のお客様をホストしており、幅広いお客様を第三者の物理的アクセスにさらすことになるという理由から、お客様によるデータセンター訪問を許可していません。このようなお客様のニーズを満たすために、独立し、資格を持つ監査人が統制の存在と運用について検証を行っています。
データの耐久性を規定していますか？	AmazonS3 は、チェックサムを用いて、格納されているデータの完全性を定期的に検証しています。破損が検出されると、冗長データを使用して修復されます。S3 に保存されるデータは、1 年間にオブジェクトの 99.999999999% の堅牢性と 99.99% の可用性を提供するよう設計されています。
セキュリティポリシーと手続きが規定されていますか？	AWS は、外部の認定機関および独立監査人と連携し、コンプライアンスフレームワークへの準拠を確認および検証しています。また、ISO27001 の認定基準への対応を確認する独立監査人から、検証および認定を受けています。

※AWS は米国ワシントン州法に準拠するため、PATRIOT Act（愛国者法）の対象となりますが、立地的には日本管轄となるため、データの差し押さえ等が必要な場合にも、日本国内の当局に相談の上、日本の司法に従った対応となります。なお、日本企業が運営するデータセンターおよびサービスであっても米国からの強制的な捜査等が入る可能性は否定できませんので、直接的な影響についての言及はいたしません。

■ HOME-BOX2 のセキュリティについて



ファシリティセキュリティについては、Amazon 社の厳正なチェックの下、日本国内のデータセンター業者が担当しセキュリティを担保しています。また、インフラ/ネットワークについても同様に Amazon 社による世界トップレベルのセキュリティが提供・運営されています。

<https://aws.amazon.com/jp/compliance/>

セキュリティとクラウドのコンプライアンスを維持するために AWS に導入されている堅牢な管理をお客様にご理解頂く為の AWS コンプライアンスプログラムがございます。

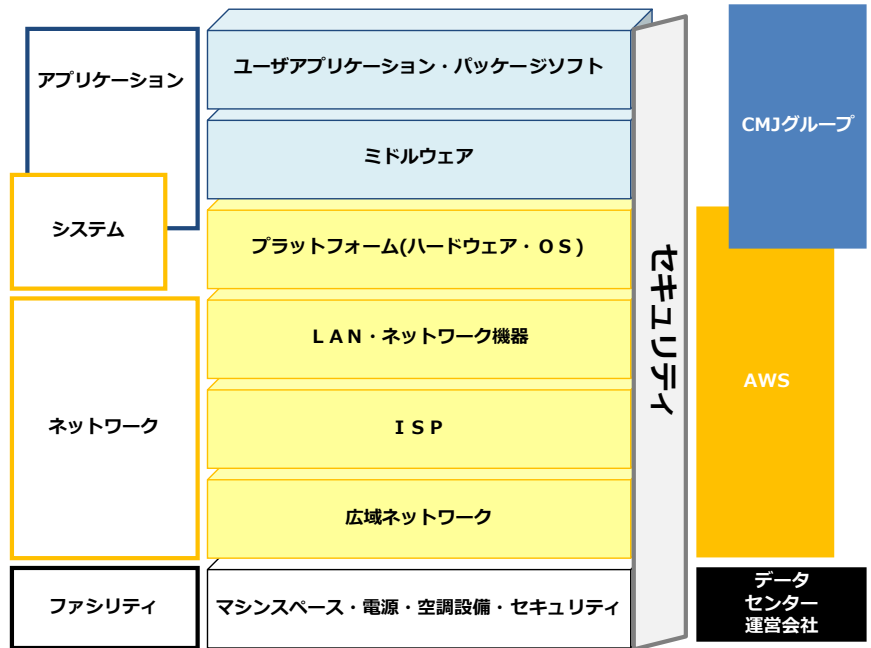
AWS コンプライアンスプログラム

<https://aws.amazon.com/jp/compliance/programs/>

CMJグループでは、AWSの充実したセキュリティの下、ミドルウェア/アプリケーションの機能とセキュリティを提供し、お客様からお預かりしたデータを安全に運用していきます。

CMJグループが提供する セキュリティの例

- 通信のSSLによる暗号化
- 脆弱性の検知と対策
- ウイルスなどの外部攻撃への対策など



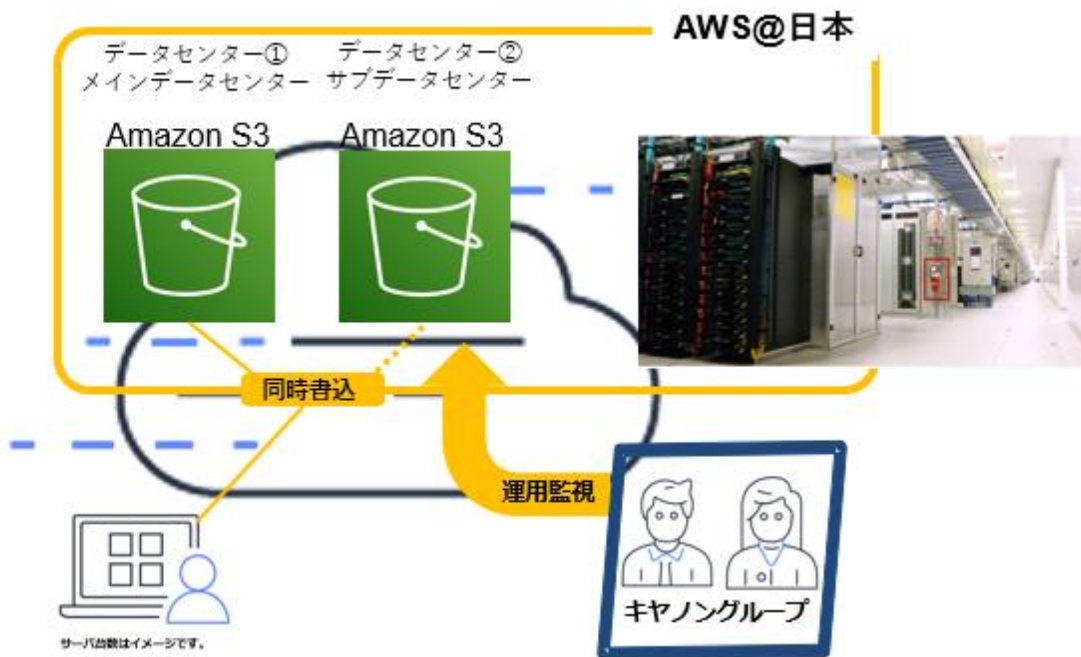
※お預かりしたデータは完全に断片化され、固有の意味を持たないデータとして扱われます。

また、AWSでは、異なる所有者のデータが相互に干渉しないような構造になっているため、データ漏えいリスクを軽減しています。

■ AWS 上の HOME-BOX2 の特徴

- ◎ 2箇所のデータセンターで冗長化していますので、データセンター障害時もサービス継続が可能です。
※メイン DC 障害時には、データのアップロード/ダウンロードに限定したサービス提供となります。
- ◎ お客様の利用状況に応じたリアルタイム環境拡充をおこなっていきます。

上記より快適なスピードと安定したサービス品質を実現します。



※Amazon Web Services、Amazon S3は、米国その他の諸国における、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。